

—地域づくりの拠点—

ふれあい

学び

つなぐ

花園公民館

文責 公民館長 坂崎 浩



施設の案内板と花の名札の設置

花の名札



11月の青空教室（ガーデン・エコ・フラワー教室）で、指導をしていただいた自主講座の皆さんから「子供たちが草花に興味を持ってくれてうれしい」の声があったので、公民館の花壇に咲いている花の名前が分かるように名札を作りました。

また、本公民館には花園公民館と花園コミュニティセンターの2つの建物があります。そのため、事務所の場所が分からず戸惑っている方がいたので、施設の案内板を設置しました。材料は、不要になった角材やパネルを再利用したものです。DIYですので完成度については大目に見てください。

施設の案内板



網田コミュニティセンター「しとらす」

網田コミュニティセンター



1月29日（水）に宇土市公民館の館長会議が行われました。会場は、利用開始したばかりの網田コミュニティセンターです。市役所支所などが入り、防災拠点としての機能を併せ持つ新施設です。その中にある網田公民館には、研修室1と2、会議室、調理室、多目的室が備わっていました。特に、明るく広い玄関が印象的でした。

愛称「しとらす」は、特産物の柑橘類（citrus）を表す英語に「～している」を意味する熊本弁をかけてあるそうです。

入口の看板



花園コミュニティセンター利用再開に向けて

玄関入口



多目的室



現在、床の改修工事中の花園コミュニティセンターですが、左の写真のとおり新しく床板が張られ、養生してあったビニールも撤去されています。2月4日（火）には、利用再開に向けて生涯活動推進課の職員に協力していただき、工事前の床に触れていた机や椅子のローラー部分を中心にアルコール除菌掃除を行いました。今後

は、最終的な清掃と検査を行い、許可が下りると利用できるようになります。

来館者からは「木の香りがしてとても良いですね」「白っぽい床材なので室内が明るくなりました」の声が聞かれました。

また、「いつから利用できますか」の問合せがあり、心待ちにしている利用者の方々もおられますが、工期が2月末までですので、もう少しお待ちください。

アルコール除菌掃除



化石のレプリカづくり～花園小6年生の思い出づくり～



レプリカ(アンモナイト)完成

花園地区青少年健全育成協議会の支援を受け、2月4日（火）～6日（木）、花園小6年生約120名が卒業前に、化石のレプリカづくりを行いました。熊本地学会の鶴田孝三会長と鶴田るみ子事務局長の指導のもと、化石（アンモナイトや肉食恐竜の歯）のレプリカづくりや本物の化石の見学、約一億年前の岩石に含まれている貝化石を磨くクリーニングを体験しました。

また、「星の砂は化石である」「化石で生物の進化や当時の環境、時代が分かる」「化石は、近くの宇城市や御船町にもある」等貴重な話も聞くことができました。

「型から取り出すときドキドキしたけど、きれいなアンモナイトができてうれしかった」「化石や地層に歴史が詰まっていることを知ることができて楽しかった」と体験後の子供たちの感想です。



化石のクリーニング